

事業所名

児童デイサービス シエスタ2

支援プログラム

作成日

R6 年

9 月

16 日

法人（事業所）理念		一人ひとりと向き合い、個々に応じた支援を行う中で、小集団での活動でのルールや他者との関わり方を学ぶ。							
支援方針		「お子様にとって落ち着いた生活空間を実現し、自宅と同様の安心した生活！」をテーマに精神的・身体的昨日を最大限に伸ばし、将来社会的自立ができるようになる事を目標とした一人ひとりの発達段階にあった内容を考え、身辺自立・運動・認知・言葉・社会性などの指導を行います。お子様と指導者が楽しみや安らぎを共有できる雰囲気の中で、自ら好きな物を選び、楽しむことを目的とします。保護者の方々とともに考えながら相対的に発達を促せるよう無理のない計画をたて実施します。また、事業の実施にあたっては、関係市区町村、地域の保険・医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。							
営業時間		8 時	30 分	19 時	0 分	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	利用時の健康観察や手洗い、汗の始末等の衛生面の指導を行い、児童自身で着替えしたり、体調の変化に気付くことができるようにしていく。ゲームをする時間、休憩の時間、身体を動かす時間など気持ちや時間の切り替えの声掛けを行い、メリハリのある活動がとれるようにしていく。簡単な掃除・調理・洗濯・荷物の整理整頓を通して、自立に向けた基礎的な生活力を身に付ける機会を作る。							
	運動・感覚	勉強や食事の際の姿勢の保持を意識できるように声かけしていく。公園でのサッカーやキャッチボール、鬼ごっこなど体を使って遊ぶ機会を作っていく。長期休みなどには、アスレチック・サイクリング・サバイバルゲームなどのイベントを企画し、普段の活動ではできない体験を通して、新たな楽しみが見つかる場を作る。							
	認知・行動	日常的に、「時計を見て行動する」事を活動の中で取り組む中で、出発までの時間で準備する事、次のゲームが終わったら休憩するなどの見通しをもって活動できるように声掛けをしていく。 おやつ（100円）の金額を意識し、分量や金額等感覚を養い、実際の買い物に活かしていけるようにする。 長期休みには、工作や陶芸・ガラスなど、普段とは違う体験を通して、指先の使い方、道具の使い方などを知る機会を作る。 海や花見など季節毎の楽しみを通して、季節の移り変わりを体感し、感受性を高めるとともに、集団での行動のルールや公共の場での適切な過ごし方やマナーを確認しながら学んでいく。							
	言語 コミュニケーション	日常的な挨拶やお願い、お礼、自己紹介等、必要な場面ですっきりと伝えられるように指導していく。 誕生会の前に、自分の誕生日に食べたい物やしたい事を伝える機会を作る。 遊びを通して、コミュニケーション能力の向上や想像力、伝える力を培うとともに、聞いていて「嫌な言葉」「不快になる言葉」を使うのではなく、周りにも配慮した声掛けができるように、日頃から注意したり、職員も言い換えの見本を示していく。 「報・連・相」を保護者・職員・学校の間に入り、本人が行えるように伝え方・話し方を支援していく。							
	人間関係 社会性	集団での遊びの中で、味方を応援する・アドバイスすること・励ますことなど声掛けし合うことで、子ども同士での関係を築けるようにしていく。 職員も一緒にゲームをする中で、不快になる言葉・不適切な言葉・嫌な言い回しなどではなく、楽しい時間になるような言葉遣いを意識できるようにしていく。 ケンカ等、気持ちの整理・事実の整理をして誤解している事など正していく。 買い物やお出かけの際に、社会のルールや協調性を学ぶとともに、日常生活の中でも「足並みを揃える」事の大切さを学び、実践していく。							
家族支援		6カ月に1回は面談日を設け、困り事や学校での事、進路など相談できる時間をつくる。 保護者と連絡、連携を密にできるようにしておく。（LINEアプリの活用） 兄弟間での関わり方など、活動に参加していく中で、身近なサポーターとしての声掛け方を助言していく。	移行支援		学校の進学等の助言や進学先での様子等伝える事で、スムーズな進学につながるようにしていく。 卒業生の作業所の販売会や地域の就労先の様子見に行くなどする中で、学校の実習ではない、就労先を知るきっかけを作る。 在籍中の様子など、支援の手だてを伝えていく。				
地域支援・地域連携		学校との連絡を取り合い、下校時間等の確認を行う。 学校での様子や事業所での様子を伝えあい、連携しながら利用児童の成長を見守る。 地域の行事や連絡会などに積極的に参加していく。		職員の質の向上		日頃の打ち合わせとともにケース会議を行い、子どもの様子や家庭の様子を共有して日々の支援に活かせるようにしていく。 研修を行い、新しい制度に対応できるようにしていくとともに、質のよい支援を行えるようにしていく。			
主な行事等		誕生会 季節ごとのおでかけ（お花見・磯遊び・イルミネーション・初詣）・陶芸やガラス工芸などのクラフト体験・「千葉をもっと知ろう」観光体験 サバイバルゲーム・サイクリング・アスレチックなど長期休みのイベント							